

# 長浜市図書館基本計画実施プラン 令和元年度評価書

令和2年10月

長浜市立図書館

はじめに

長浜市立図書館は、平成27年3月策定の「長浜市図書館基本計画」に基づき具体的な取組みを計画的に進め、図書館運営の基本とするため、平成27年度から5年を期間とする実施プランを作成しました。

図書館法第7条の3の規定に基づき評価を実施するために、年度ごとの運営状況について、自己評価および図書館協議会への意見聴取をおこない、その結果を公表します。

なお、第3章については、中央図書館を要とした新体制の構築に関する項目ですが、中央図書館を含む複合施設は現在計画中であるため、その進捗状況により具体的な取組みがあった場合に評価をおこないます。

各取組みの達成状況について、自己評価がDであった取組みについては、その原因を分析し、次年度の取組みに生かします。

自己評価 基準

- A：計画以上の取組みをおこない、目標を大幅に超える成果があった
- B：おおむね計画に沿って実施し、課題はあるが、目標が達成できた
- C：実施したが課題が多い
- D：ほとんど実施できなかった

## 令和元年度の図書館評価を終えて

長浜市立図書館の年度評価は、図書館職員による内部評価と、それを参考として図書館協議会が担う外部評価を合わせたものとして公表する方式を定着させて5年目となる。

本年度の図書館協議会は、年来の課題であった新長浜図書館の新設・開館を年度内に迎えることから、新たな図書館組織の下で展開される第2期図書館基本計画の策定に着手し、そのための作業と並行しつつの外部評価を行うこととなった。作業は前年度の方法を踏襲し、協議会に小委員会を設け、そこで図書館職員からの説明も得つつ、丁寧な検討をしていただき、その結果を全体会議で審議し、確認することとした。ご多忙の中、小委員を務めていただいた委員各位には非常なご苦勞をおかけしたことに謝意を表す。

今回の外部評価の結果を前年度と比較すると、来館が困難な人へのサービスなど前年度にCであった事項がほぼ今回もCとなっている。改善がそうにわかに進むものではないとしても、さらなる努力が求められる。その中であって、長浜の最大の課題である北部地域へのサービスの改善がCからBに改善されたことは注目したい。新館効果が結果を見せねばならない次年度にその実が問われることになろう。

今年度の評価に際して前年度と大きく異なる要素として、12月に待望の新長浜図書館(中央館)が開館し、それに対応してその他のサービス拠点にもさまざまな変化があったこと、市の中心部に「さざなみタウン」の中核施設として大規模な中央図書館がオープンしたことへの市民の関心度の高まりに顕著な成果が見られたかどうか、に関心が集まった。時期的にもその成果は次年度に検討されるべき課題ではあるが、最も変化がうかがえるはずの開館直後の利用の伸びが予期したほどではなかったとみられることは、最後の項目の「目標と評価」に指摘したような重要な課題を示している。問題の所在ははっきりしており、新館の開館という二度とない好機のことだけに、従前から協議会の審議の中でも折々に提起してきたことであったが残念な結果というほかない。

いま一つの大きな要素として、年度末に発生した新型コロナウイルス感染という全国的(国際的)な事態の発生により、図書館事業にさまざまな「自粛」や改変を余儀なくされたことがある。多くは次年度評価において取り上げられることではあるが、長浜では新中央館の開館から早い時期の非常事態であり、市民の図書館への意識、期待感の高揚を損なうことになったのではと思われる。

本協議会が担った評価の全体会議も、対面での審議ができず、通信による協議とならざるを得なかった。第2期基本計画の策定作業も大幅に遅滞しており、次期の評価においてはその関連課題にも留意が必要となろう。本年度の評価が図書館職員全体、市の関係部門によって共有され、広く市民にも理解と支持を得て本市図書館事業の一層の進展に有効に活かされることを切望する。

長浜市図書館協議会  
会長 塩見昇

Ⅰ. 市民のための図書館サービス

番号	①	資料の充実	年度工程
取組み内容	1	全館の蔵書構成を把握しながら、年度ごとの購入計画を作成し、それに沿って選書をおこないます。	実施
	2	全館で季節や時事にちなんだ本を集めたピックアップコーナーを設置し、定期的に入れ替えます。	実施
	3	館内の案内を工夫する等、見やすく探しやすい棚づくりをします。	実施
今年度取組み状況	1.年度計画を作成し、長浜図書館の「特色ある棚」資料およびYA資料、また各館の補充資料などを重点的に購入しました。 2.全館で、時期に合わせた展示・ピックアップコーナーを展開し、定期的に入れ替えました。 3.新長浜図書館では「育てる」「旅する」等のテーマの本棚を設け、見やすく探しやすい配置とサイン等を工夫しました。		自己評価 B
課題	初めて利用する市民にもわかりやすい本の配置を示すサイン等が、新長浜図書館を含め十分でないののでさらに整備が必要です。		

番号	②	レファレンス機能の強化	年度工程
取組み内容	4	レファレンスを広く知ってもらい、利用しやすくなるような環境を整えます。	実施
	5	レファレンスの回答事例収集数を年5%以上向上させます。	実施
	6	収集したレファレンス事例は、図書館ホームページ等で一般公開します。	実施
	7	入手困難な資料は、県内外の公共図書館・大学図書館・各種図書館との相互貸借を積極的に利用して提供します。	実施
	8	職員は外部の専門的な研修を受講し、全職員を対象におこなう内部研修も積極的におこないます。	実施
今年度取組み状況	4:10月に改訂した利用案内にレファレンスサービスを記載し利用者にPRしました。 5:9月末までに事例を61件収集しました。※10月以降はシステム更新によりこれまでのような方法で事例件数を集計することができません。(参考:H30年度246件) 6:レファレンスサービスをさらに周知するために回答事例を図書館ホームページに掲載する準備を始めました。「知の講座」で展示した地域資料をリストにして6館に設置・配布しました。 7:県内外の図書館との相互貸借を積極的に利用し、利用者の求めに応じて資料を提供しました。 8:滋賀県公共図書館協議会や国会図書館の研修に参加し、職員研修で共有しました。		自己評価 B
課題	・レファレンスの事例件数は図書館システムに入力された完了件数としていましたが、10月の図書館システム更新により入力と記録の方法が変わったため、昨年度と比較できる件数を出すことができません。サービスを毎年比較検討できる指標の設定が必要です。 ・職員のスキルアップになる研修を今後も積極的に企画・実施し、具体的に業務に反映していく必要があります。		

番号	③	館内事業等の充実	年度工程
取組み内容	9	市民の幅広い知的好奇心を喚起するような講座や展示を年間3回以上企画し、実施します。	実施
今年度取組み状況	知の講座で、講座「仏像とともにある湖国長浜の暮らし」、展示「写真で見る湖北長浜の仏像展」、展示「長浜から見たびわ湖の四季写真展」開催しました。興味を持った人の課題解決につながるよう関連資料を展示し、資料の一覧表を制作・配布しました。講座のアンケートでは、ほとんどの方に「とてもよかった」と回答いただきました。 また、新長浜図書館では、長浜まちづくりセンターと協力して子ども学び座を、社会福祉協議会と協力して読み聞かせ講座を開催するなど、複合施設であることの利点を生かした事業を開催しました。		自己評価 A
課題	市民の興味関心を惹く題材を取り上げ、関連資料でより深く課題の解決や新しい発見ができ、さらに生涯学習のきっかけとなる事業を企画する必要があります。		

番号	④	電子化資料への対応	年度工程
取組み内容	10	地域資料を電子化しデジタルアーカイブとして保存し図書館ホームページ等で公開します。	実施
	11	電子化資料の収集・貸出方法や提供方法を検討します。	検討
今年度取組み状況	国立図書館のデジタル送信化サービスの準備を進めました。		自己評価 C
課題	システム更新により画像データのWEB公開ができなくなったため、別の方法で検討する必要があります。 (画像データを書誌データの一部として登録は可能)		

1-1に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
①資料の充実	B	新長浜図書館開館に向けて計画的に購入し、特色あるコーナーの工夫もできている。新館のサインが不十分でわかりにくいのでさらに整備を進めてほしい。
②レファレンス機能の強化	B	事例集の収集について、システム更新による影響もあるようだが、カウンターが聞きやすい雰囲気であるかどうかなども見直してみる必要があるのではないか。
③館内事業等の充実	A	講座と展示を組み合わせることで広がりを持たせ、相乗効果が期待できる。また、複合施設であることの利点を生かし、まちづくりセンターや社協と協力した事業もおこなっている。
④電子化資料への対応	C	システム更新による影響もあるが、電子化といっても様々な手法がある。システムによらず、何のために何を電子化するのか改めて考えてほしい。

2. だれもが利用できる図書館をめざします

番号	①	来館が困難な人へのサービス	年度工程
取組み内容	12	公民館図書室や学校図書館との連携によるサービスポイントの増設や移動図書館車の導入を検討します。	実施
	13	高齢や療養、産前産後などの理由により図書館に来ることのできない人が利用できる、貸出・返却の仕組みを作ります。	実施
今年度取組み状況	12:(庁内関係課検討会議で)協議しました。 13:検討の結果、規定づくりや作業が煩雑にならないような工夫が必要であることなどの具体的な課題がわかりました。順次、解決策を検討し取り組みます。		自己評価 C
課題	12:北部図書室のあり方や連携の方法なども含め、引き続きの検討が必要です。 13:個人のニーズに応える仕組みを整備する必要があります。		

番号	②	しょうがい者へのサービス	年度工程
取組み内容	14	音訳ボランティア養成講座を主催し、講座受講後は定期的にスキルアップの機会を設けます。	実施
	15	だれもがわかりやすいピクトサインを計画し、設置します。	
	16	音訳や筆談、同行援助(視覚しょうがい者の安全確保と情報提供)ができる体制を整えます。	実施
	17	しょうがい者等に対し、年間100点以上、郵送貸出をおこないます。	実施
	18	関係機関のサービスを利用することで、視覚しょうがい者へ提供できる資料の数や質を向上させます。	実施
	19	図書館のしょうがい者サービスを周知するため、パンフレットを作成し、関係各課や団体などに配布します。	実施
今年度取組み状況	音訳ボランティア講座では音訳だけではなく、しょうがい者についての理解を深め、同行援護の研修もおこないました。22人のボランティアが実際に視覚しょうがい者への情報提供に多くかかわっています。 新長浜図書館には、施設の各所にピクトサインを設置しました。 長浜図書館が移転新設オープンしたことで視覚しょうがい者(弱視の人)が来館するようになり、郵送貸出の新規利用者が2人増加しました。		自己評価 B
課題	潜在的な利用希望者へのサービスの周知について、効果的な方法でおこなう必要があります。		

番号	③	子育て世代へのサービス	年度工程
取組み内容	20	はぐはぐおはなし会・木製おもちゃの貸出し・育児書や子育て情報の提供をします。	実施
	21	子育て世代が使いやすいように設備やスペースを工夫し整えます。	実施
	22	ブックスタートボランティアの養成講座を毎年開催し、年に3人以上増やします。	実施
	23	子育て支援施設と連携した事業をおこないます。	実施
今年度取組み状況	20:子育て世代に向けて、「子育て応援めーる」や「子育て応援アプリながまるキッズ!」(主管:子育て支援課)でサービスの情報提供をおこないました。 21:新長浜図書館に親子トイレや授乳室を設置しました。 22:既存のブックスタートボランティアのスキルアップのため、読み聞かせボランティアを楽しむための講座(共催:長浜市社会福祉協議会)を開催しました。(新規のブックスタートボランティアは1人) 23:「ながはままるごと応援フェスタ」(主催:子育て支援課、11/17)において、えほんのひろばを開催しました。		自己評価 A
課題	赤ちゃんタイムを拡充するなど、子育て世代が利用しやすいサービスの充実が必要です。		

番号	④	高齢者へのサービス	年度工程
取組み内容	24	高齢者向けの資料を充実させるために、大活字本を年に50冊以上増やします。	実施
	25	社会参加やボランティア等、新たな活動のきっかけとなるような講座を年1回以上開催します。	実施
	26	高齢者施設における貸出の仕組みを作り、貸出しを促進するために周知します。	実施
今年度取組み状況	24:旧館では書庫にいれざるを得なかった大活字本も、新長浜図書館では全冊開架にし、見やすく探しやすい場所に多く設置したことにより、利用が増加しました。 25:取組み内容No.9で、高齢者も参加できる講座を開催しました(1回)。 26:高齢者施設への貸出は、団体貸出の仕組みを利用しています。 ・高齢者の特性について全職員が研修を受講し、日常のサービスに活かすことができました。		自己評価 A
課題	高齢者施設が利用できる団体貸出や出前講座等のサービスの利用促進ができていません。効果的に周知する必要があります。		

番号	⑤	外国語を母語とする人へのサービス	年度工程
取組み内容	27	外国語資料の収集・提供を進めます。特にポルトガル語・スペイン語資料をそれぞれ年に10冊以上収集します。	実施
今年度取組み状況	今まで数が少なかった青少年向けの本を収集・提供しました。ブラジル人学校の生徒たちの図書館見学もあり、外国人の利用は統計として出せませんが増えています。ポルトガル語・スペイン語・英語の図書館利用案内をカウンターに常備しました。		自己評価 A
課題	国際交流の各担当部署と連携をさらに深め、外国語をテーマにした事業を開催するなど、ニーズに合ったサービスを発信・提供する必要があります。		

1-2に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
①来館が困難な人へのサービス	C	新型コロナウイルス感染拡大期には、郵送貸出をおこなった図書館もあった。今後も、感染症対策としても必要性が高まるかもしれない。すべての市民に図書館サービスを届けるために実現に向けて検討を続けてほしい。
②しょうがい者へのサービス	A	県内の図書館と比較しても高水準でおこなっている。
③子育て世代へのサービス	A	ブックスタートも定着している。関係機関と協力しながら、まんべんなく取組みができています。
④高齢者へのサービス	A	市役所の関係課等と連携してさらに進めてほしい。
⑤外国語を母語とする人へのサービス	A	少しずつだが、確実にサービス網を広げている。(取組み内容にある)本を10冊買えばよいわけではないので、多様化する外国人への対応を進めてほしい。

3. 子どもが本と親しめる図書館をめざします。

番号	①	子どもの読書活動の推進	年度工程
取組み内容	28	「長浜市子ども読書活動推進計画」(第2次)に基づく「けやきっ子プロジェクト」を関係課の中心となって進め、第3次計画へつなげます。	実施
今年度取組み状況		「長浜市子ども読書活動推進計画」(第3次)を策定し、それに基づき、第2次計画から引き続いて関係課と連携して事業を進めてきました。特に、小中学校だけでなく高等学校の司書職員との意見交換等も実施し、学校図書館や学校司書とのつながりを深めることができました。また、関係課どうして課題を共有する、行事を共催するなど連携も進み、図書館単独でおこなうより多様な切り口で、子どもたちの読書を支援する取組みが進みました。	自己評価 A
課題		市全体で子どもの読書活動の理解をさらに深め、気運を高めていく必要があります。	

番号	②	学校図書館との連携	年度工程
取組み内容	29	学校図書館の蔵書管理や書架の配置について学校及び学校司書の相談に応じます。	実施
	30	学校司書との連絡会を通じて、学校図書館の運営への支援や資料・情報の提供をおこないます。	実施
	31	学校連携が可能となる拡張性を持った図書館コンピュータシステムを採用し、体制を整備しながら学校図書館への支援を進めます。	実施
	32	図書館と学校間の資料配送システムのネットワーク化について検討します	実施
	33	図書館見学を積極的に受け入れるためメニューを作成し、学校図書館連絡会を通じて情報提供をおこないます。	実施
今年度取組み状況		・学校司書連絡協議会(主催:教育指導課、年6回)に参加し、学校司書との意見交換をおこないました。 ・学校図書館連絡会を年2回(5/13、2/21)に開催し、市教育委員会・学校の図書主任・学校司書との情報共有をおこないました。 ・学級巡回文庫の配送を業者に委託することにより、職員の配送業務の負担を軽減することができました。	自己評価 A
課題		子どもの身近にいる学校司書と学校図書館を支援し、学校図書館に足りない図書の貸出や、学校司書のスキルアップをフォローするためにも、学校図書館連絡会を有効に活用する必要があります。施設見学や来館貸出、職場体験のほか、学習成果物の展示、先生がおすすめる本の貸出など、市立図書館が学校の様々な取組みを支援できることをもっとPRする必要があります。	

番号	③	園との連携	年度工程
取組み内容	34	園の絵本の活用が進むよう、書架の配置や絵本の並べ方等の助言をおこないます。	実施
	35	市内全園に、来館による絵本の貸出しやおはなし会の受入れを毎年お知らせし、利用を促します。	実施
今年度取組み状況		34:園の保育者向けに絵本の読み聞かせの研修をおこないました。(主催:市教育センター) 35:園向けの団体貸出サービスを開始し、5園12件の利用がありました。	自己評価 A
課題		団体貸出を利用した園の絵本コーナーの充実など、園の取組みに寄り添ったサービスの展開が求められます。	

番号	④	子どもと本をつなぐ大人への支援	年度工程
取組み内容	36	子どもの読書への理解と関心を深めるため、保護者やボランティアを対象に、年1回以上講演会等をおこないます。	実施
	37	園や学校で図書整理などをおこなうボランティアのスキルアップにつながる講座を開催します。	実施
	38	担当課と協力し、子どもの読書への理解と関心を深めるための教師・保育者向けの研修会等を年に1回以上開催します。	実施
	39	教師や保育者の教育活動や教材研究に役立つ資料を計画的に購入し、情報を提供します。	実施
今年度取組み状況	36・37:読み聞かせボランティアを楽しむための講座(共催:長浜市社会福祉協議会、7/27、8/3、8/31の全3回)を開催、のべ79人の参加がありました。 38:市教育センターと協力し、教師や保育者向けの研修をおこないました。 39:学校や園からの依頼に対応できる新しい資料を367冊購入し、学校司書連絡協議会等でPRしました。		自己評価 A
課題	子どもの読書環境を豊かにするために、学校やボランティア等の活動に役立つ情報や講座等を効果的に提供する必要があります。		

1-3に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
①子どもの読書活動の推進	A	関係機関等と連携しながら進められている。
②学校図書館との連携	A	学校図書館の現状を把握し、現状に沿った取組みができています。
③園との連携	A	団体貸出制度を整備するなど、新しい取組みもできています。
④子どもと本をつなぐ大人への支援	A	関係機関と連携して実施することで、図書館には来館しない層の参加も促進できている。

4. まちの魅力を発信し、地域の文化的な拠点となる図書館をめざします

番号	①	地域資料や行政資料の収集	年度工程
取組み内容	40	行政資料の収集を市行政職員に周知し、ファイリングやデータの整理を進めます。	実施
	41	地域資料を市民に呼びかけ収集するとともに、データの整理を進めます。	実施
	42	地域資料の活用や継承する方法について、専門家や関係機関とともに検討する体制を整えます。	実施
今年度取組み状況	行政・関係機関等への地域資料の収集の周知方法等を検討し課題の整理を進めています。行政・他機関から配布される刊行物については可能な限り登録・保存に努めました。市民からの寄贈についてもできるだけ受け入れ、地域資料の収集に努めました。		自己評価 B
課題	新長浜図書館の参考資料室・公開書庫の整理・配架、および旧長浜図書館からの移管が未完状態です。中央図書館体制を構築するために他館から新長浜図書館への移管・資料整備（複本資料の同定、書誌データの修正、資料の装備等）をさらにすすめる必要があります。		

番号	②	市の情報の提供	年度工程
取組み内容	43	地域活動や子育て、暮らしに役立つ情報を収集・整理し、活用できる体制を整えます。	実施
今年度取組み状況	長浜図書館の1階入り口近辺に「地域情報のコーナー」を、また、2階「テーマの本棚」に暮らしに役立つ資料を集中的に配置しました。		自己評価 B
課題	常に新鮮な情報を提供できるよう仕組みを整え、周知・広報等を積極的におこなう必要があります。		

番号	③	博物館や資料館との連携	年度工程
取組み内容	44	地域の歴史や民俗に関する専門的なレファレンスに対応するため、博物館や資料館との連携協力体制を整備します。	実施
	45	博物館との連携を進めるため、共催行事や展示の開催を年に1回以上おこないます。	実施
	46	歴史資料を博物館等と連携して保存・活用・提供できる体制を整備します。	実施
今年度取組み状況	自由研究コンクールH-1グランプリ2019を長浜城歴史博物館と共催でおこない参考資料の展示や優秀作品展示をおこないました。長浜図書館の「地域情報のコーナー」に、市内の資料館や博物館の案内チラシ、観光振興課提供の観光パンフレット等を配置しました。博物館発行の資料は積極的に収集し図書館蔵書として提供しています。		自己評価 B
課題	博物館・資料館の所管課や観光および広報の関連部署ともさらに連携を深める必要があります。		

番号	④	活動発表の場の提供	年度工程
取組み内容	47	施設を利用しての作品展示や活動の発表の場としての利用を促進するため、市広報や図書館ホームページで参加・応募を呼びかけます。また、展示や発表の成果を図書館ホームページ等で公開します。	実施
今年度取組み状況	施設を利用して作品展示をおこなっていることを新聞社へPRし、広く周知してきました。展示の様子を図書館ホームページで紹介しました。		自己評価 C
課題	図書館ホームページでの紹介が不定期だったため、アピールが十分できませんでした。ホームページでの紹介方法の検討が必要です。		

I-4に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
①地域資料や行政資料の収集	B	市の刊行物はもれなく収集する必要がある。行政の発行する報告書等は、今後ペーパーレス化が進むと考えられるが、網羅的に収集できるような仕組みを整備すること。
②市の情報の提供	B	旬の情報や市内の事業と関連づけた情報提供を進めてほしい。
③博物館や資料館との連携	B	市内の資料館や博物館、また観光パンフレット等を常設するなど、新しい取り組みができた。
④活動発表の場の提供	C	双方向性を持たせるのか、SNSを使った発信は継続可能なのか等検討の余地はたくさんあるので、長浜市にマッチした方法の検討が必要。

5. 市民とともにつくる図書館をめざします

番号	①	市民との協働の推進	年度工程
取組み内容	48	市民の図書館運営への参画を促進するため、市民との協働による事業を年1回以上開催します。	実施
今年度取組み状況		ブックスタートボランティアと共にブックスタートを、音訳ボランティアと共にしょうがい者サービスを、おはなしボランティアと共におはなし会をおこないました。	自己評価 B
課題		ボランティアと図書館が相互理解を深めながら、やりがいを持って活動を続けてもらえるように、コーディネートとサポートが必要です。	

番号	②	ボランティア活動の推進	年度工程
取組み内容	49	図書館や読書に関するボランティアの交流会を年1回以上開き、情報交換できる場を設け、市民活動を広げます。	実施
	50	図書館を拠点として活動するボランティアに、通信を年6回程度発行し、ボランティアが図書館で活動するために必要な情報を提供します。	実施
今年度取組み状況		49:読み聞かせボランティアを楽しむための講座(共催:長浜市社会福祉協議会、7/27、8/3、8/31の全3回)の中で、情報交換できる場を設けました。 50:ボランティア通信3回、音訳ボランティア通信2回、ブックスタート健診日程のお知らせを発行して活動情報を発信しました。	自己評価 A
課題		ボランティア活動を始めたい人やすでに活動している人の交流の場を設ける、活動に役立つ情報を発信するなど、市民活動の支援を継続していく必要があります。	

番号	③	図書館協議会等の活用	年度工程
取組み内容	51	図書館のサービスを検証し、意見を求めてサービスの向上につなげるため、図書館協議会を年2回以上開催します。	実施
	52	講演会や講座の開催時には、毎回アンケートを実施し、市民の声を企画に生かします。	実施
今年度取組み状況		51:図書館協議会を6回開催し、図書館サービスへの意見を聴取しました。 52:必要に応じてアンケートを実施しました。昨年度のアンケート結果を生かした講座等を開催しました。	自己評価 A
課題		来館しない・できない市民の声をどう集めて活かすか検討が必要です。	

1-5に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
①市民との協働の推進	B	各事業について積極的な取組みができていますが、単に行事を一緒におこなうだけでなく、企画から共に関わり事業を開催できるようにもう一歩深められるとよい。
②ボランティア活動の推進	A	複合施設の利点を生かし、他機関と相互の効果も得られている。
③図書館協議会等の活用	A	他市と比較しても長浜市の図書館協議会は活用されている。

## I. 図書館機能充実のための施設整備

## 1. 均衡あるサービス提供のための新しい体制

番号	①	6図書館の体制整備	年度工程
取組み内容	53	中央図書館・北図書館・サテライトの体制への移行に必要な条例改正をおこないます。	自己評価 A
今年度取組み状況	長浜図書館の移転新設に合わせ、条例改正をおこないました。		
課題	今後も必要に応じて条例改正等をおこないます。		

番号	②	北部地域へのサービス拡充	年度工程
取組み内容	54	木之本・余呉・西浅井サテライトに図書館司書が勤務する日数・時間を決めます。それ以外の日・時間帯の運営体制については、現行の管理者と協議をおこない決定します。	実施
	55	木之本・余呉・西浅井サテライトでおはなし会を開催したり、読書案内やレファレンスに応じたりするための体制を整備します。	
	56	北図書館が北部サテライトの資料配送や運営を支援するための体制を整備します。	
今年度取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>各図書館で地域や行事に合わせた本の特集コーナーを設けました。</li> <li>10月から資料配送を週4便に増やし(余呉・西浅井)、迅速な資料提供ができる体制を整えました。</li> </ul>		自己評価 B
課題	北部図書館の各管理者を交えた運営への共通理解を持つ場や担当者と日常の連絡をとる体制を整える必要があります。資料の入れ替えや書架の配置などを見直して、利用しやすい環境をつくることも必要です。		

番号	③	中央図書館の役割	年度工程
取組み内容	57	中央図書館に庶務や企画部門を集中するため、事務分掌と職員配置を見直します。	実施
今年度取組み状況	長浜図書館の移転新設に合わせ、職員配置を見直し、新長浜図書館に庶務を集中する職員配置をおこないました。		自己評価 B
課題	長浜図書館が中央図書館として担う役割をさらに明確化し、体制を整える必要があります。		

番号	④	地域館の役割	年度工程
取組み内容	58	地域館の庶務や企画部門は、中央図書館へ集約するため、事務分掌と職員配置を見直します。	実施
	59	地域館を活動拠点とする団体・ボランティアの活動を支援するための体制を整備します。	実施
	60	サテライトは、児童向けの資料や日常的・実用的な資料を中心とした蔵書構成となるよう、計画的に購入や移管等を進めます。	実施
	61	サテライトは、地域の人々が気軽に集い談話できる場として整備します。	実施
今年度取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>長浜図書館の移転新設に合わせ、全館の職員配置を見直し、新長浜図書館に庶務を集中しました。</li> <li>地域館には日常的・実用的な資料を中心とした蔵書構成となるように、選書基準を見直しました。</li> </ul>		自己評価 B
課題	各館の担う役割をさらに明確化し、体制を整える必要があります。		

番号	⑤	施設の有効活用	年度工程
取組み内容	62	サテライトは、他の教育施設・機関との複合化や小学校・中学校の学校図書館と複合した地域開放型の学校図書館とする方向についても検討します。	実施
今年度取組み状況		長浜市図書館基本計画(第2期)策定にかかる関係課検討会議のなかで、複合化や多機能化について関係課の意見を聴取しました。	自己評価 C
課題		図書館とともに配置することによって住民サービスがより効果的で効率的であるような機能と複合できないか、さらに検討が必要です。	

2-I-1に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
①6図書館の体制整備	A	着実に計画どおり進められている。
②北部地域へのサービス拡充	B	3図書室の実情や運営の課題を整理して進めること。
③中央図書館の役割	B	概ね計画どおりに進められている。
④地域館の役割	B	概ね計画どおりに進められている。
⑤施設の有効活用	C	複合化や多機能化についてもこの5年間で状況の変化もある。施設の有効活用を図りながら図書館サービスを向上させるためにどのような方法が望ましいか、改めて検証も必要ではないか。

2. 中央図書館に求められる機能と役割

番号	①	市民が交流し活動を広げる機能	年度工程
取組み内容	63	地域で活動する人やグループが活動の成果を発表できるスペースを中央図書館に設けます。	実施
	64	各地域で活動する市民同士が交流できる場を中央図書館が提供し、活動をサポートします。	実施
今年度取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>立体的な展示台を各階層に設置しました。</li> <li>図書館で活動する団体が利用できるビブリアールームを設けました。</li> </ul>		自己評価 B
課題	図書館の持つ機能が他の機能と連携することで、求められる役割がより果たせるような運用方法について、さらに検討を重ねる必要があります。		

番号	②	地域の知の拠点としての機能	年度工程
取組み内容	65	市の最新情報だけでなく、地域に関わるあらゆる資料を幅広く収集し提供する機関リポジトリ(知的生産物を保存・公開するための電子アーカイブシステム)を検討し、長浜市の歴史や文化をインターネット等を通じて発信します。	実施
今年度取組み状況	新システムではテーマごとに収集した資料群を一覧で提示できる機能(「テーマで探す」)を持たせました。		自己評価 C
課題	市民に向けて、実際にどんなテーマで発信をするかの検討が必要です。		

番号	③	複合施設であることを生かした機能	年度工程
取組み内容	66	図書館と公民館が同じ施設内にあるメリットを生かし、市民の生涯学習をより効果的に支援することができる体制を整備します。	実施
	67	起業や就業、ビジネス拡大等の資料を集めたビジネス支援コーナーを設置します。	実施
	68	産業創造センターや商工会議所と連絡を密にし、相互の資料情報提供や講演会・相談会等の開催などについて協力体制を整備します。	実施
	69	市民のボランティア活動を支援できるよう、市民活動の支援と未来を担う人づくりに向けた市民活動支援センターや社会福祉協議会と連携を密にし、相互の資料情報提供や講演会・相談会等の開催などについて協力体制を整備します。	実施
今年度取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業や就業、ビジネス拡大等の資料を集めた「働く」コーナーを設置しました。</li> <li>長浜まちづくりセンターと協力して事業をおこないました。</li> <li>社会福祉協議会とボランティアの受け入れ等で協力しました。</li> </ul>		自己評価 A
課題	資料提供や施設使用だけでなく、お互いの特性を生かした連携方法等について、具体的に協議を進める必要があります。		

2-I-2に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
①市民が交流し活動を広げる機能	B	さらにグループや市民同士の交流が深められるとよい。
②地域の知の拠点としての機能	C	コンピュータシステム上の課題が多いのであれば、例えば、展示と連携させるなど手近なところから始める工夫も必要ではないか。
③複合施設であることを生かした機能	A	開館と同時に様々な取組みができています。今後、商工会議所等との連携にも取り組んでほしい。

II. 計画推進のための管理運営体制

令和元年度

I. 運営方法

番号	①	管理運営主体	年度工程
取組み内容	70	図書館の管理運営主体について、本市にもっともふさわしい形態について図書館協議会などで協議します。	実施
今年度取組み状況		長浜市図書館基本計画(第2期)の関係課検討会議のなかで、意見交換しました。	自己評価 B
課題		長浜市図書館基本計画(第2期)の策定を進める中で、様々な角度から協議をすることが必要です。	

番号	②	開館日・開館時間	年度工程
取組み内容	71	中央図書館の開館に合わせ、もっとも効果的で市民が利用しやすい開館日・開館時間となるように見直し、条例の改正などをおこないます。	
今年度取組み状況		長浜図書館の移転新設に合わせ、条例改正をおこないました。	自己評価 A
課題		今後も必要に応じて条例改正等をおこないます。	

番号	③	職員の配置と資質向上	年度工程
取組み内容	72	全館の効果的な職員体制を整備します。	実施
	73	司書の育成や専門スキル習得・向上のための研修を計画的におこないます。	実施
今年度取組み状況		72:新長浜図書館の中央図書館機能を強化するための職員配置を関係課と協議し、次年度の予算に反映しました。 73:国立国会図書館のレファレンス研修など専門研修を受講し、全体研修で共有し、スキルアップを図りました。	自己評価 B
課題		長期的な視点で、市域全体でのサービス向上につながるような人員体制と研修内容を検討する必要があります。	

2-II-1に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
①管理運営主体	B	新館開館後も職員による管理運営を基本とした体制を整えることができた。
②開館日・開館時間	A	新館開館後も効果的な図書館運営ができるよう、条例その他関係規則を見直し、整備がすることができた。
③職員の配置と資質向上	B	職員配置の見直し等、職員体制を見直すことで、新館開館後も全館の図書館業務を効果的に実施することができた。 司書一人ひとりの力が図書館利用の増に繋がるという調査結果もある。さらに司書の資質向上に取り組んでほしい。

2. 資料管理

番号	①	資料の整理および管理	年度工程
取組み内容	74	全館の蔵書規模と構成を見直し、効果的な資料収集・提供と適正な資料管理を計画的におこないます。	実施
	75	中央図書館の開館に合わせ、中央図書館の開架の充実に必要な資料の整備を計画的に進めます。	実施
今年度取組み状況	新長浜図書館用補充予算をテーマ・分類・配架によって配分し一つの分野に偏ることなく必要とする資料を計画的に購入できました。 新長浜図書館に配架する資料を選別しICタグを貼付し、不足分については各館から移管をすすめました。		自己評価
			B
課題	旧長浜図書館からの資料移転で配架が不完全の部分があり修正する必要があります。また開架・閉架資料のバランスも考慮する必要があります。		

番号	②	資料配送システムの充実	年度工程
取組み内容	76	資料配送システムは、現在の週3回から週5回の配送に増便します。	実施
今年度取組み状況	長浜図書館の新設移転に合わせ、ばらばらだった休館日を揃え、週5便に増便しました。		自己評価
			A
課題	北部3図書室の休室日が異なり、北部3図書室への配送が週3~4便のままです。北部地域への資料配送について検討する必要があります。		

2-Ⅱ-2に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
①資料の整理および管理	B	実際に見直しをしてみたの新たな課題などもあったのではないかと思います。不完全な部分の修正をさらに進めてほしい。
②資料配送システムの充実	A	計画どおり進められている。

3. 機械化・自動化の推進

番号	①	コンピュータシステムの更新	年度工程
取組み内容	77	ホームページは、よりわかりやすく利用しやすい内容となるよう、システム更新時にリニューアルします。	
	78	インターネットを利用した検索や予約のシステムには、メールマガジン等の新しい機能を追加します。	
今年度取組み状況	ホームページの内容を精査し、よりわかりやすい内容になるようにリニューアルしました。また、読書マラソン等の新しい機能を追加しました。		自己評価 B
課題	リニューアルしたホームページの積極的な広報を進めていきます。		

番号	②	機械化・自動化の推進	年度工程
取組み内容	79	自動貸出・返却装置、自動予約棚、自動化書庫、BDS等の導入を進めます。	実施
	80	機械化・自動化促進のため、ICタグの貼付を進めます。	実施
	81	インターネットを利用した蔵書検索や資料予約、メールによる予約連絡の利用者を増やすため、周知を進めます。	実施
今年度取組み状況	長浜図書館の新設移転に合わせ、自動貸出機・自動返却機、自動予約棚、BDSを稼働しました（高月図書館は自動貸出機のみ）。約60万枚のICタグを資料に貼付しました。新長浜図書館では、自動貸出機の利用を積極的に勧め、本を借りる方の約70%が自動貸出機を利用されています。		自己評価 A
課題	自動化をすすめていく上で、利用者のインターネット利用が重要になります。広報・窓口等で積極的にインターネット利用の促進を図ります。		

2-II-3に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
①コンピュータシステムの更新	B	新しいホームページがわかりにくいという声もある。必要なことがきちんと伝わるようにさらに工夫を重ねてほしい。
②機械化・自動化の推進	A	計画どおり進められている。

3 サービス指標の設定と評価

令和 元 年度

I. 数値目標と評価方法

番号	数値目標と評価方法	年度工程
取組み内容	82 年度ごとの具体的な取組み目標を設定し、達成状況について項目ごとの自己評価をおこないません。	実施
	83 目標の達成状況を検証するため、利用者アンケートや市民懇談会等をおこないません。	実施
	84 年度ごとに、図書館協議会から意見を聴取します。	実施
	85 年度ごとの実績と併せ、自己評価および図書館協議会からの意見を事業年報で公表します。	実施
今年度取組み状況	平成30年度の自己評価をおこない、それを元に図書館協議会から意見を聴取し外部評価とし、それらをまとめて「長浜市図書館基本計画実施プラン平成30年度評価書」として公表しました。 また、事業実績は「長浜市立図書館事業報告書平成30年度版」としてとりまとめ、公表しました。	自己評価 B
課題	早い時期に外部評価と内部評価をとりまとめ、次年度の事業や予算に生かす必要があります。	

3に対する図書館協議会からの意見		
評価項目	評価	意見等
数値目標と評価方法	B	<p>継続している事業もあり、地域の状況も変わっていくので、次期計画では年度ごとの取組み段階がわかるような工程や評価のしくみができるとよい。</p> <p>地域館の蔵書構成を見直し、新長浜図書館への移管作業を積極的に実施することで新館の蔵書充実を図った取組みは評価できるが、新長浜図書館開館後の利用に目を向けると、貸出冊数が当初の予想よりも少なかった印象があり、計画で掲げる各種数値目標の達成は困難な状況がある。</p> <p>新長浜図書館の蔵書整備が規模に見合ったものであったのか。利用拡大のため今後の資料購入費はどうあるべきか、増額も視野に検討を続けてほしい。</p> <p>加えて新長浜図書館開館により利用者層の地域的な広がりが見られたのか。利用動向調査の結果も踏まえ、新長浜図書館の魅力を市民にどう発信すれば全館の利用増につながるのか、考えていかなければならないのではないか。</p>

## 長浜市図書館基本計画に掲げる数値目標

サービス指標			実績		目標
			平成25年度	令和元年度	平成31年度
①	実利用者率(市民)	%	15.8	11.5	25.0
②	個人貸出密度	冊	8.6	7.4	10.8
③	来館者数 (長浜図書館・中央図書館)	人	138,633	161,855	350,000
④	個人貸出冊数(全館)	冊	1,051,471	873,970	1,300,000
⑤	予約・リクエスト件数(全館)	件	144,355	151,974	165,000
⑥	レファレンス件数(全館)	件	270	81	350
⑦	市民による展示・発表件数(全館) (おはなし会を含む)	件	78	85	100
⑧	ボランティア活動者のべ人数(全館)	人	1,021	441	1,200

① 実利用者率 1年間に図書館の貸出を利用した市民の割合

② 貸出密度 1年間の市民1人あたりの貸出冊数